

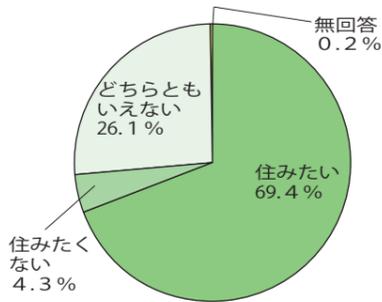
皆さんの声で住みよいまちに！ 第15回世論調査の結果がまとまりました！

市では、7月に第15回清瀬市政世論調査を実施しました。この調査は、市民の皆さんが持つ市に対する考えや意見、要望などを、今後の市政運営に反映させ、より住みよいまちとしていくことを目的に、3年に1度実施しており、住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の男女1,000人にご協力をいただきました。今回の調査から長期総合計画実行計画の成果指標との連動を考慮した設問を盛り込み、市政の各分野から28項目33問を設定し意

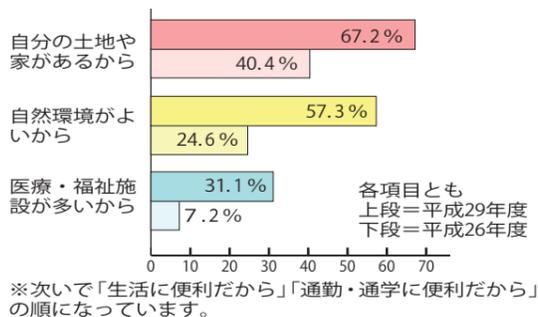
向などを伺ったところ、506人の方からご回答をいただきました。そして、この度その調査結果がまとまりましたので、その概要についてご報告します。なお、調査結果の報告書は、市役所をはじめ、各地域市民センター、各図書館、市ホームページでご覧いただけます。問合せ 秘書広報課広報広聴係 ☎042・497・1808

◆【居住継続意思】清瀬市に住み続けたいと思いませんか？

問1.今後も清瀬市に住みたいと思いませんか？



問1-2.「住みたい」とお答えの方に伺います。その理由を教えてください



約7割の方が清瀬に住み続けたい！

今後も清瀬市に住みたいと思うか尋ねたところ、「住みたい」と回答した人は351人で、全体の約7割(69.4%)となり、前回調査(66%)から3.4ポイント増加しました。

今後も住み続けたい理由のなかで、「自然環境がよいから」を選んだ人の割合は57.3%と、緑豊かな環境が多くの方に支持されていることが伺えます。



◆【重点施策】今後、市が重点的に進めるべきと思う施策について伺います

市が進める第4次長期総合計画の4つの主な将来像(「安全でうるおいのある暮らしができるまち」・「健幸でともに支え合うまち」・「子どもたちを健やかに育むまち」・「豊かな自然と調和した

住みやすく活気あるまち)のなかで、重点的に進めるべき施策について尋ねました(9項目から2つまで選択)。主な将来像の上位3位までの結果はそれぞれ次のとおりです。

安全でうるおいのある暮らしができるまち

- 1位 防災体制の充実・強化・・・57.9%
- 2位 防犯体制の充実・強化・・・43.1%
- 3位 暮らしの相談体制の充実・・・23.7%

関連する問17において、市が重視すべき防災対策について尋ねたところ、「食料・飲料水・毛布などの備蓄品の充実」が39.7%と最も高く、次いで「災害時の避難所運営の備え」の39.5%となっています。

また、年齢別では、「子ども・高齢者・障害者などの援護が必要な方への救護体制」を選択した18歳～19歳の割合が57.1%と高くなっており、若い世代に、災害弱者を気づかう意識が伺えます。

子どもたちを健やかに育むまち

- 1位 子育ての支援・・・53.0%
- 2位 「生きる力」「考える力」を育む学校教育・・・45.3%
- 3位 青少年の健全育成・・・24.7%

「子育ての支援」を選択した方の割合は、年齢別で20歳～29歳、30歳～39歳に多く、子育て世代が支援を求めていることが分かります。

また、関連する問23において、安心して子育てできるようにするために重要だと思う施策について尋ねたところ、「安全・安心な地域(交通面、防犯面等)づくり」が47.8%、「保育サービスの充実(定数増加、延長保育の拡大等)」が36.2%と、地域と連携した安全・安心な子育て環境の構築と保育サービスの充実を求める回答の割合が高くなっています。

健幸でともに支え合うまち

- 1位 高齢者の支援・・・47.2%
- 2位 医療体制の整備・・・43.1%
- 3位 生活の安定の確保及び自立・就業支援・・・33.6%

関連する問21において、高齢者福祉の分野で力を入れて欲しい施策内容について尋ねたところ、「高齢者の健康づくり・介護予防施策を充実させる」が32.6%と前回調査から7.3ポイント上昇しており、介護予防の意識が高まってきていることが伺えます。次いで「特別養護老人ホームやグループホームなどの施設サービスを充実させる」が31.0%、「ホームヘルパーやデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させる」が30.8%と、介護保険サービスの充実を求める傾向も伺えます。

豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

- 1位 自然環境の保全・・・39.5%
- 2位 適切な土地利用の推進と住環境の整備・・・36.6%
- 3位 道路ネットワークと交通環境の整備・・・27.9%

関連する問15において、緑の保全・育成の考え方について尋ねたところ、「市民や事業所などが参加できる自然体験学習の場として雑木林を活用する」が37.5%で最も高くなっており、前回調査に比べて10.3ポイント増加しています。次いで「公有地化した緑地は、散策路だけ歩けるように整備して管理する」が36.0%、「雑木林の維持管理をしていくための基金の積立・活用や市民ボランティアの制度を推進する」が33.6%などの順になっています。

消費生活講座

清瀬市役所が作った「はちみつ」ときよせ野菜で作る
ココロとカラダにやさしいお菓子

清瀬産食材を使ってお菓子を作り、地産地消と食材が体にもたらす効果について学びます。先着24人。

日時 12月15日(金)午後2時～4時

場所 消費生活センター

費用 500円(材料費)

講師 料理家 竹内ひろみ氏

※保育あり(無料・1歳～未就学児・12月8日までに下記へ)。

申込み・問合せ 12月1日～13日(平日午前9時～午後

5時)に費用を添えて、直接消費生活センター ☎042・

495・6211へ



竹内ひろみ氏

『きよせにんじんジャム』 ポイントシール2倍キャンペーン！

「きよせにんじんジャム」をご利用いただいている方に感謝の気持ちを込めて、にんじんジャムを1個お買い求めいただくごとに、ポイントシールを2枚差し上げます(通常は1枚)。10枚集めると、にんじんジャムを1個プレゼント！

取扱店は、オレンジ色の旗が目印です。

※詳しくは清瀬商工会ホームページ ☎http://

jam.kiyose.or.jpへ。

キャンペーン期間 12月1日(金)～25日(月)

問合せ 清瀬商工会 ☎042・491・6648



にんじんジャム

シニアヨガ「冬」

高齢者向けの緩やかなヨガレッスンです。全5回。対象 市内在住の55歳以上の方。定員40人(応募者多数の場合は抽選。結果は12月25日(月)までに発送予定)

日時 平成30年1月29日、2月5日・19日・26日、3月5日のいずれも月曜日、午前9時30分～11時30分

場所 アミューホール

講師 日本カルチャーヨガ協会 高橋登希恵氏

申込み・問合せ 12月8日(消印有効)までに往復はがきに必要事項(右

記載例参照)を記入し、生涯学習スポーツ課 ☎042・495・7001へ

往信用(裏)	往信用(表)
シニアヨガ(冬)参加申込書	〒204-0021
1.住所	元町1-2-11
2.氏名(フリガナ)	生涯学習
3.年齢	スポーツ課行
4.電話(連絡先)	

※返信用の表には申込者の住所・氏名を記入してください。
※6月1日よりはがきの料金が「62円」となりました。ご注意ください。